

幸町地区学校適正配置地元代表協議会（仮称）資料

1 地域の概況

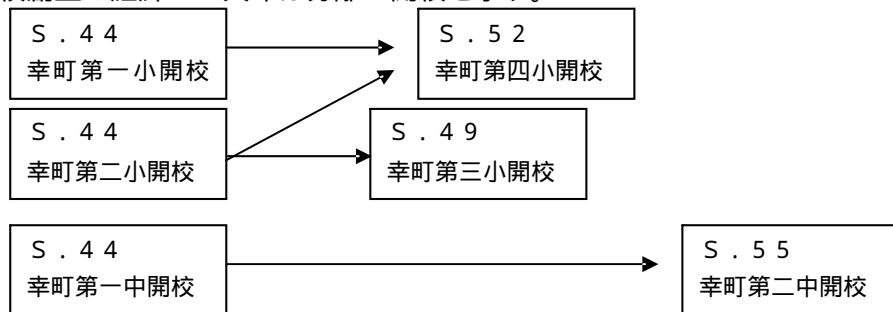
幸町地区（中央区新港の幸町第三小・第二中学区を含む）は、東西約0.5km、南北約2.5kmの地域である。昭和39年、臨海部ニュータウンのさきがけとして千葉県が埋め立てをはじめ造成した。幸町団地は、千葉市の埋立地における初めてのマンモス団地（旧日本住宅公団施工）であり、そこに住む住民に「幸多かれ」と祈念して命名している。（S42.3.14）

幸町地区の人口は約26,000人（H.19年4月現在）である。

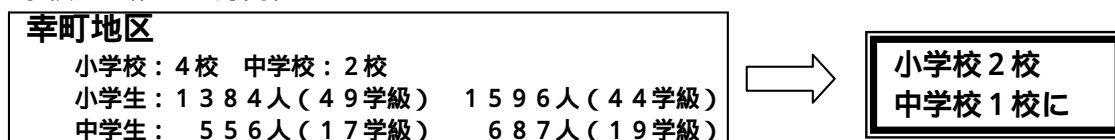
2 学校の状況

地域には、小学校4校、中学校2校が点在しており、小学校3校と中学校2校の小規模化が懸念されている。平成19年5月現在の小学生数は約1,400人、中学生数は約560人、平成25年度推計では小学生約1,600人、中学生は約790人である。児童生徒数の増加は、中央区千葉港（現幸町第三小・幸町第二中の学区）における集合住宅建設によるものである。幸町団地のある幸町2丁目の人口は平成4年から18年の間に約2,000人（23%）減少しており、高齢化率も高く今後も児童生徒数の増加は見込めない。平成25年度推計値をもとにした地区に必要な学級数は、小学校44学級、中学校は19学級である。

3 学校創立の経緯 矢印は分離・開校を示す。



4 学校適正配置の方向性



小学校を2校、中学校を1校に統合することを検討する。

5 参考

(1) 学区の状況

美浜区幸町1・2丁目、中央区千葉港7・8番、
美浜区新港（ただし全域学区外通学承認地域：高浜一小・高浜中）

(2) 学校の歴史等 経年は平成19年4月現在

学校名	開校年月	経年	創立経緯等	特別支援学級の状況	その他
幸町第一小	S44・4	38年	44年: 緑町小より移転、開校 52年: 幸町第四小を分離	知的1、情緒1	子どもルーム 学校内
幸町第二小	S44・4	38年	49年: 幸町第三小を分離 52年: 幸町第四小を分離	通級指導教室 (言語2、難聴1)	
幸町第三小	S49・4	33年	49年: 幸町第二小より分離、開校		子どもルーム 学校内
幸町第四小	S52・4	30年	52年: 幸町第一・第二小より分離、開校		子どもルーム 学校外
幸町第一中	S44・4	38年	44年: 緑町小より移転、開校 52年: 幸町第四小を分離		
幸町第二中	S55・4	27年	55年: 幸町第一中より分離、開校		

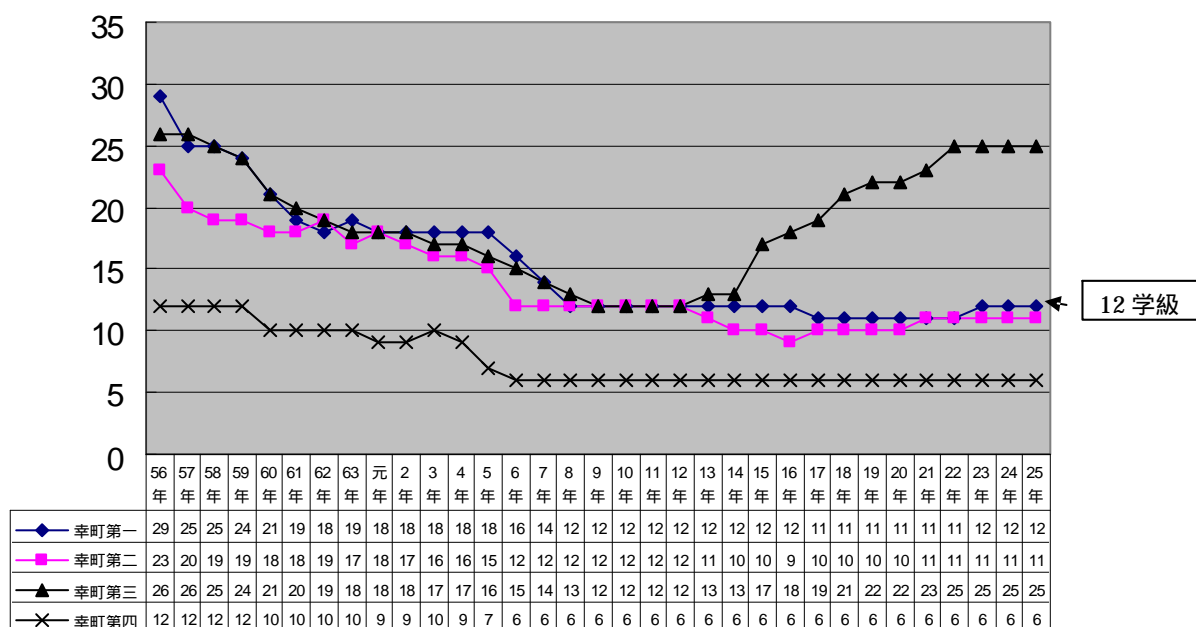
(3) 学級数・児童生徒数(20年度以降は推計値)

【小学校】

ア 児童数の推移(人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
幸町第一小	276	271	269	266	282	277	289
幸町第二小	236	249	263	264	258	259	260
幸町第三小	742	787	823	882	894	912	914
幸町第四小	130	126	122	117	122	124	133

イ 学級数の推移(学級)

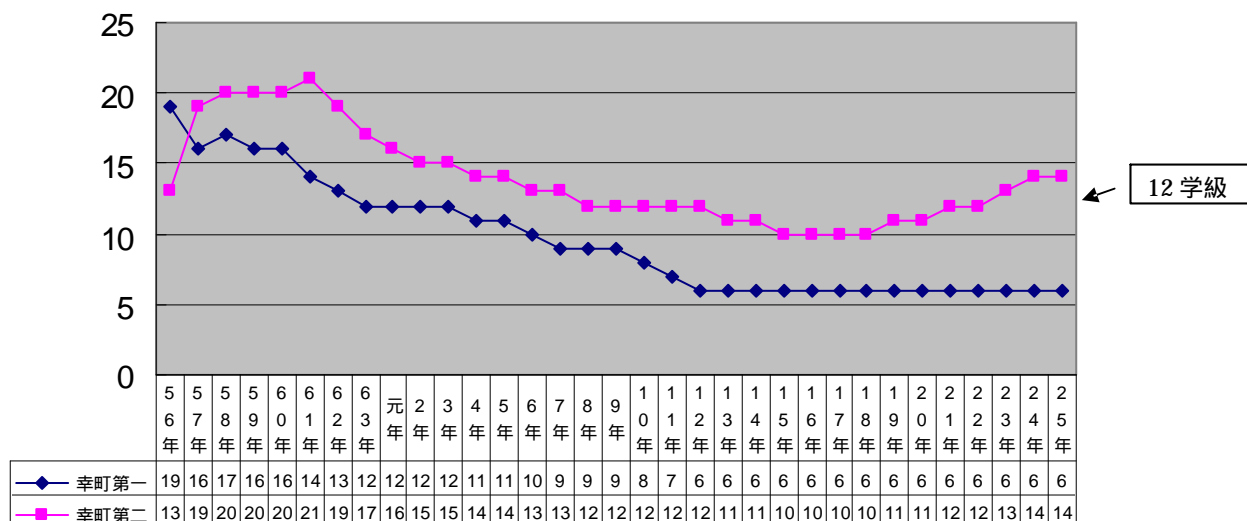


【中学校】

ア 生徒数の推移(人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
幸町第一中	179	186	204	215	198	193	190
幸町第二中	377	388	409	405	445	464	497

イ 学級数の推移(学級)



(4) 学区図

